

令和2年度第5回遠野市総合計画審議会

— 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 令和2年11月2日(月)午前10時00分～午前11時55分
- 2 場所 あえりあ遠野 交流ホール、こぶし、やまぼうし、ライブラリー、中ホール
- 3 出席者

(1) 委員

会長	及川 増徳	一般財団法人遠野市教育文化振興財団理事長
副会長	新里 佳子	TKプロジェクト実行委員会監事
委員	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
委員	松田 克之	遠野市消防団団長
委員	千葉 和	NPO法人遠野エコネット代表
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	佐藤 正市	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会委員
委員	井手八重子	花巻農業協働組合理事
委員	濱田平八郎	遠野地方森林組合代表理事組合長
委員	三浦 芳昌	遠野市観光協会会長
委員	佐々木弘志	遠野商工会長
委員	小向 敏夫	遠野市校長会会長
委員	小笠原正剛	一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員	内舘 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	佐々木浩章	遠野テレビ
委員	佐々木栄洋	地域づくり団体
委員	相高 宏太	遠野ひまわり基金法律事務所弁護士
委員	佐々木 亨	県南広域振興局経営企画部長
委員	備前 修	遠野市金融団
欠席	千葉 純子	一般社団法人遠野市医師会会長
欠席	藤山重理子	遠野市PTA連合会監事
欠席	赤坂 康紀	遠野市郷土芸能協議会会長

(2) 遠野市

市長	本田 敏秋
副市長	飛内 雅之
教育長	菊池 広親
総務企画部長	鈴木 英呂
経営管理担当部長	菊池 享
健康福祉部長	菊池 寿
子育て応援部長	佐々木一富
産業部長	中村 光一
プロジェクト担当部長	阿部 順郎
環境整備部長	奥寺 国博
市民センター所長	小向 浩人
文化振興担当部長	石田 久男

消防本部消防長	三松 丈宏
教育部長	伊藤 貴行
会計管理者	鈴木 純子
総務企画部総務課長	白岩 克己
総務企画部財政担当課長	海老 寿子
総務企画部政策担当課長	新田 正宏
宮守総合支所長	河野 和浩
健康福祉部福祉課長	佐々木 洋
子育て応援部こども政策課長	阿部 智恵子
産業部農林課長	奥寺 孝光
産業部観光交流課長	菊池 功幸
環境整備部建設課長	阿部 隆宏
市民センター市民協働課長	荻野 弘美
市民センター文化課長	宮田 秀一
教育委員会学校総務担当課長	佐々木伸二
消防本部総務課長	山蔭 康則
総務企画部政策担当	箱石 奈央・佐々木利幸・阿部 隼人

(議事概要)

I 分科会

5つの分科会に分かれ、

- 1 第4回総合計画審議会分科会の提言に対する変更案について
- 2 第4回総合計画審議会以降の本文、まちづくり指標の変更点について
- 3 第4回総合計画審議会分科会の提言に対する意見・提言について
- 4 その他、後期基本計画案について。

以上4点について協議・確認を行った。なお、各委員に対する説明は、事務局である政策担当の職員が行い、提案内容に対して、各委員から質疑・意見をいただく流れで進めた。

(各大綱別の質疑等の概要は別添のとおり)

II 座長会議

○及川増徳会長

分科会の進行ご苦労様でした。この場は、この後の全体会の開催を前に、各分科会の様子を発言いただきながら、答申案の確認をさせていただき時間としたいと思います。

全体時間は10分程度で予定としたいと思いますので、ご協力よろしく願いいたします。

まず初めに、先ほどの分科会の様子とそれを踏まえて原案に対する意見、承認の可否について報告いただければと思います。

大綱1の千葉委員から、順に発言をお願いいたします。

○千葉和委員(大綱1座長)

前回第4回の分科会で出された意見について確認を行いました。その他、本日新たに確認された意見は特にありませんでした。以上を踏まえ、本分科会では、原案について承認することが確認されました。

大綱1の関係分野である環境対策、社会資本整備について、各委員からの発言に対して、本文や指標の見直しが行われるなど、委員の意見が取り込まれた計画となりました。

益々重要となる環境対策や、国土強靱化の推進など、引き続き、各施策の着実な実行に努めていただきたいということで確認しております。

○臼井悦男委員(大綱2座長)

前回の審議会の意見に対する内容について、確認を行い意見等はありませんでした。今日出された意見としては、まちづくり指標の中で、現状を下回っている指標について質問がありました。

視覚障がい者に対する支援策については、個別計画の中で検討していくことが確認されました。以上のような協議を踏まえて、大綱2の分科会では、原案に承認することが確認されました。

○佐々木弘志委員（大綱3座長）

前回の審議会の意見に対する内容について、確認を行い意見等はありませんでした。今日出された意見としては、文書の訂正が一部出されました。

新型コロナウイルスによる生活様式の課題、課題に対する迅速な対応について、その他として意見が出されました。

○及川増徳会長（大綱4座長）

計画書には、学力向上に関する記述、高校給食の提供に関する検討について追記がありました。また、まちづくり指標に、小学校・中学校の学力調査偏差値の目標値、「社会教育の充実」の施設の利用件数等について、目標値の見直しがされました。

本日新たに確認された意見等はありませんでした。以上のことから大綱4では、原案について承認することが確認されました。

大綱4の関係分野である学校教育、生涯学習、文化振興に関する委員の発言に対して、本文や指標の見直しが行われるなど、委員の意見が取り込まれた計画となりました。

○内館充幸委員（大綱5座長）

第4回の委員会で出された意見等について確認されました。本日出され意見として、まちづくり指標 No. 118 の職員数について確認がありましたが、定年延長やアウトソーシング、再雇用を踏まえて設定しているということで確認されました。

市民協働によるまちづくりについて、新たにスタートする小さな拠点による地域づくりをはじめ、第三セクターの更なる改革、行財政運営に関する本文や指標の見直しが行われるなど、委員の意見が取り込まれた計画となりました。

まちづくりにおいては、現在進めている、支え合う小さな拠点づくりに向けて、引き続き、関係機関が一丸となって推進していただきたいということで確認しました。

○及川増徳会長

ありがとうございました。それでは、各大綱とも原案に承認いただいたようですので、答申案の確認をさせていただきたいと思います。

答申案は、これまでの協議を踏まえて、会長としての想いを込めた内容として調整をさせていただいたものです。

（答申案の概要を確認）

原案について、どなたかご意義ありますか。

（異議無しの声）

それでは、次の全体会で承認をいただきましたなら、本内容で市長に対して答申をしたいと思っています。

なお、各座長の皆様からも、先ほどの内容についてご報告いただきますのでよろしくお願ひいたします。

以上で、この場を終わらせていただきます。ありがとうございました。

Ⅲ 全体会

1 開会

○新田政策担当課長

本日は、お忙しい中、遠野市総合計画審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。また、先ほどは、各分会によるご審議をいただきまして、ありがとうございました。ただ今から、令和2年度第5回遠野市総合計画審議会の全体会を開会いたします。私は、政策担当課長の新田正宏と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

はじめに、遠野市長から、あいさつを申し上げます。

○本田遠野市長

本日はお忙しい中、第5回の市総合計画審議会にご出席いただき感謝申し上げます。

今日は11月2日。朝晩もめっきり冷え込み、冬の訪れを感じる季節となりました。今年も残す

ところ2カ月。そのような中、先月27日には本州唯一となる乗用馬市場を開催しました。

今回は、コロナ禍ということで売れ行きも心配されましたが、初のオンライン中継などの試みにより、売上総額では昨年を上回る1,839万円という額になりました。昨年来を189万円上回る取引が出たというところに、コロナに向き合う新たな可能性、あるいは挑戦といったものを、馬場の中から感じ取ったということも皆様にお伝えしておきたいと思います。

また、同じく先月27日、市役所内部の政策決定を行う場である地域経営会議において、今年度の主要事業の進捗状況をそれぞれ確認し合いました。各課が掲げる、委員の皆様それぞれにも関係ある事業241項目の内の235項目、97.5%の事業が完了又は着手済みとなっていることを確認できました。委員の皆様のご協力をいただきながら、コロナ禍の中で真摯に向き合っている状況を確認できたことをご報告申し上げます。

さて、本日は第2次遠野市総合計画後期基本計画の最終審議をいただく予定となっております。9月28日、及川増徳会長に諮問を申し上げ、本日を含めて3回の分科会の中で、各委員の皆様のそれぞれの立場から活発な議論をいただきました。そして今日この場をいただきました。繰り返すにはなりますが、心より敬意と感謝を申し上げます。

前回までに各委員の皆様からいただいた意見、提言は、約200項目に及びます。担当が整理した皆様方の意見、提言を一つ一つ読ませていただきました。委員の皆様方の意見から気づかされる点、改善すべき点などを読み取らせていただきました。

そういった中において、委員の皆様からいただいた200項目に及ぶ意見・提言は、市としても可能な限り計画に反映させるというような作業を行ったところであります。

今回の最終審議会に向けて、市政課題の位置づけとの関係性を確認し、まちづくり指標については、21項目を改めて見直したところであります。さらには、本日の最終案には、主要施策が458施策、主要事業として113事業を位置付けたところであります。まちづくり指標は、21項目の見直しを行い、最終的には118事業がまちづくり指標として整理されております。

この数値は、遠野市にとって大変大きな数字であると思っております。なお、この主要施策458施策の内、約7割が見直し、あるいは新規の施策となっております。見直し、再編は新しい時代がそれを求めているということになるかと思っております。各委員の皆様の大変なご理解のもと、本日の審議をもって答申をいただくということになります。限られた時間の中ではありますが、よろしくお願い申し上げまして、報告を兼ねて感謝の言葉に代えさせていただきます。

なお、来年の令和3年の二十歳の集いは、予定通り行うということで実行委員会から連絡を受けております。二十歳の集いの時に、これからの遠野を支える若い方にいつも呼びかけている言葉があります。幕末の教育学者であり、哲学者であり、様々な形で人づくりを行ってきた吉田松陰が語った言葉。夢無き者に理想無し、理想無き者に計画無し、計画無き者に実行無し、実行無きものに成功無し、故に夢無きものに成功無し。というその言葉。この基本計画も、今の遠野をしっかりと見据えながら、将来の遠野をその中に描くという作業を皆様に行っていただいたことに、改めて経緯を表し感謝を申し上げながら、冒頭の挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

○新田政策担当課長

それでは次に、及川増徳会長からご挨拶をいただきたいと思っております。

○及川増徳会長

大変ご苦労さまでございます。これまでの会議で、各委員から質問、意見、提言といった発言が数多くあり、議論を深めることができたかと思っております。市当局においても、各委員の発言を真摯に受け止め、誠実に検討し提示をしていただいたかと思っております。さらには、事務局の政策担当においては、発言記録や処理結果、計画案の見直し箇所について、わかりやすい資料作成や提示に努めていただいたかと思っております。9月の末に後期基本計画案が諮問され、全体会を通じて活発に議論を行い、結果として、市民が望む計画づくりに、審議会として一定の役割を果たすことができたのではないかと、そのように考えております。今日はこの後、後期基本計画案と答申案をお諮りすることになります。先ほどの座長会議の中でも確認をいたしました。委員各位の承認を得て答申したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○新田政策担当課長

次に、本日の出席者、配布資料の確認をさせていただきます。本日の委員の出席状況は、25名中 22名の皆様にご出席をいただいております。欠席の報告は、5番の千葉委員、16番の藤山委員、17番の赤坂委員となっております。なお、市の出席者については配付資料のとおりとなっております。また、本日の配付資料については、先ほどの分科会で確認いただいておりますので、省略いたします。

この後、分科会の座長の皆様から、分科会で出された意見等について報告いただきます。その後審議になります。また、審議状況によりますが、本日は答申までお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。なお本日は、正午を目途に進めさせていただきたいと思っております。

それではここからの進行は、及川増徳会長をお願いいたします。

○及川増徳会長

それでは次第5番の審議に入ります。初めに後期基本計画案についてお諮りするわけですが、先ほど開かれた分科会の内容について、各座長の皆さんから、審議結果について発表していただきたいと思っております。その後、基本計画案についてお諮りしたいと思っております。それでは、大綱1の座長である千葉委員からお願いします。

○千葉和委員

大綱1の座長を務めさせていただいた遠野エコネットの千葉です。第4回の分科会の意見の対応につきましては、総合交通対策にバスの計画的な更新の追記がありました。自然災害の予防対策に、河川改修に伴う流域治水の考え方の追記がありました。防災、消防、救急、遠野テレビインターネット加入率のまちづくり指標の見直しがされました。

環境、住宅、宅地の整備、空き家対策の記述について、表現が分かりにくいということで、前回の意見を取り入れて、分かりやすい表現に改められ、この項目を分科会で確認をしたところです。

これについては、特に、質問等はありませんでした。第5回の分科会での新たな意見等はありませんでした。分科会としては、原案について承認することを確認しました。

座長の総括としましては、大綱1は、環境対策、社会資本整備についてということでしたが、これまでの各委員の発言に対して、本文の指標等の見直しがされ、委員からの意見が十分取り込まれた計画となりました。

今後は、ますます重要となる環境対策、国土強靱化等の推進について、各施策の着実な実行に努めていただきたいと思います。

○臼井悦男委員

社会福祉協議会の臼井です。今までの意見の対応につきましては、資料に基づいて説明をいただき、そのことについては、了解をいただいたところであります。なお、総合計画と並行して、個別計画づくりが進められております。具体的にはそちらに委ねられている項目もあるように思われます。総合計画の趣旨が、個別計画にも十分生かされるよう、丁寧な議論が進められるようにという意見をいただいております。

計画案に対する分科会の意向としては、原案を承認することといたしました。

大綱2は健康づくりの推進、地域福祉の充実、子育て支援を中心としているところでありますが、様々な議論を通じて、委員の意見が取り入れられた計画となったと思っております。並行して進められております個別計画の中で、十分に意見を取り入れるように、具体的な計画作りが進められるようご配慮をお願いしたいと思っております。

人口減少等で様々な課題が出てきております。益々困難になることと思っておりますが、引き続き、ご努力いただきたいと思いますということを申し上げます。

○佐々木弘志委員

遠野商工会の佐々木です。第4回までの追記事項は4点ほどありましたが、これについては、分科会の中で確認し、本日の分科会の中でも新たな意見はございませんでした。

これを踏まえまして、分科会では原案を承認するということを決定いたしました。

総括としまして、大綱3の関係分野であります、農林業振興、商工業振興、観光振興に関する委員の発言に対し、本文の指標の見直しが行われるなど、委員の意見が取り込まれております。第1次産業の後継者対策、新型コロナウイルス感染症による、飲食店や製造業への影響、観光客の回復、さらには移住定住の促進など、課題解決に向けた取組が多岐にわたることから、引き続

き、各施策の着実な実行に努めていただきたいと思います。総括とさせていただきます。

○及川増徳会長

第4分科会は私が座長を務めさせていただきましたので、私から発表させていただきます。今日の分科会では、当局の方から学力向上に関する記述の追記、高等学校への高校給食の提供に関する検討について、まちづくり指標に関しては、小中学校の学力調査偏差値の目標値について見直しがされました。社会教育施設の利用件数等についても、目標値の見直しがされたことについて報告があり、分科会で確認を行ったところであります。

今日の分科会での意見については、特にございませんでした。計画案に対する分科会の意向については、原案について承認するというを確認したところであります。

総括として、大綱4の関係分野である、学校教育、生涯学習、文化振興について、委員の発言に対して、本文や指標の見直しが行われるなど、委員の意見が取り込まれた計画となったと評価しております。小中学生の学力向上は大きな課題であり、生涯学習のさらなる充実が求められることから、引き続き着実な実行に努めていただきたいと思います。

なお、本市にとって大きな施策となるこども本の森の整備については、新たな魅力向上につながる施設になることが期待されることから、市民を交えた機運醸成などに取組みながら、全国に向けて発信していただきたいと思いますことを確認したところであります。

○内館充幸委員

遠野市区長連絡協議会の内館です。第3回、4回の提言並びに修正箇所について、当局から整理いただきました。大綱別施策、指標について再度確認をしたところであります。今日の第5回については、再確認をしたところでありますが、1点だけ申し上げます。

市職員の数について、目標は段階的に減にした方がよいのではないかとということでありました。現在335人の目標がたてられておりますが、今後は、定年退職の延長が考えられます。退職による再雇用も考えているという説明でありました。

今日の大綱5の関係分野につきましては、新たにスタートする小さな拠点による地域づくりをはじめとして、第三セクターのさらなる改革、財政運営に関する本文や指標の見直しが行われており、各委員の意見が反映された計画となっております。

まちづくりにつきましては、市民と行政が地域の課題を共有し、互いに知恵を出しながら取り組むことが大事でございます。特に、現在進めている小さな拠点づくりにつきましては、引き続き関係機関が一体となって進めていただきたいと思いますこととさせていただきます。

原案につきましては、各委員に承認いただいたところであります。以上です。

○及川増徳会長

ご苦勞様でございました。各座長の皆様から、分科会の審議結果について報告をいただきました。いずれも原案について承認するというものでありました。委員各位の意見、提言を計画に反映させた内容になっているというのが、全体を通じての座長評価でありました。ごくろうさまでございます。

このことについて皆様から何かございましたら、発言を求めるところではありますが、いかがでしょうか。

○佐藤正市委員

特に異議はございません。全体的には賛成いたします。5つの分科会でそれぞれ異議なしというように受け止めました。それを受けまして、後期基本計画の目玉はどういう事業があるのでしょうか。179ページ以降に主要事業があります。第2分科会であったため、他の分科会までは詳細を承知しておりませんが、今回の後期計画で考えている目玉事業は、どのような事業があるのかお示しをいただきたいと思います。

○鈴木英呂部長

目玉事業ということで、冊子の後ろの方に乗せています。これらは全て目玉事業ということの位置づけになります。5年前にこの総合計画を策定するにあたり、永遠の日本のふるさと遠野を将来像に作ってきています。そして、それぞれ大綱別に計画を定めたほかに、共通優先方針として、産業振興・雇用確保、少子化対策・子育て支援を真ん中に置いて、第2次遠野市総合計画作ってきています。後期においては、共通優先にもう一つ、支え合う小さな拠点による地域づくりが加わったというのが大きな特徴になっています。3つの共通優先方針に基づいて、施策を進め

ていきたいと思っております。

○及川増徳会長

ありがとうございました。佐藤委員よろしいでしょうか。(了解の声)。他にはございませんでしょうか。(意見無し)

それでは、ご意見がないと受け止めまして、お諮りしたいと思います。後期基本計画案は承認することよろしいでしょうか。(異議なしの声)

ありがとうございます。それでは、第2次遠野市総合計画後期基本計画案は、原案のとおり承認すること決定しました。ありがとうございました。

それでは次に、第2次遠野市総合計画後期基本計画答申案に入らせていただきます。ただいま事務局を通じて原案を配付させていただいております。答申案につきましては、これまでの審議結果を踏まえて、委員の意見等が十分に計画に反映され、今後5年間の行政運営の指針となる各政策や施策が位置付けられたと認められることから、原案をもって了とすることを前段に記載しております。

また、各委員の意見を踏まえた施策の展開と、今後予定されている各個別計画との十分な整合性を図ることにより、また、3点目に、国、県への支援策を求めながら、主要事業がより実効性のある計画となるよう、意見を付記しているところであります。

このことについて、何かご発言がございましたらどうぞ。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは、第2次遠野市総合計画の答申についてご異議なしということで、決定とさせていただきます。

この後市長に答申することといたします。進行を事務局にお返しします。

○新田政策担当課長

ご審議ありがとうございました。それでは及川増徳会長から第2次遠野市総合計画後期基本計画について答申をいただきます。市長は及川増徳会長の方にお進み願います。

○及川増徳会長

(及川増徳会長が答申内容を読み上げ)

(市長が会長の前に進み答申を受ける)

○新田政策担当課長

及川増徳会長ありがとうございました。市長は席にお戻り願います。

これまでの審議大変ありがとうございました。それではここで、委員の皆様全員から、これまでの審議に対する感想や市に期待することなどについて、意見を頂戴できればと思います。恐れ入りますが1分ほどでご発言いただければと思います。新里委員からよろしく願いいたします。

○新里佳子委員

遠野は土地柄、一次産業、農業の振興が無くては元気が出ないと思っております。そのようなことから、持続可能な社会を作るといふことにおきまして、人口減少もありますが、交流人口を拡大していきながら、多くの方々に足をお運びいただけるようなまちづくりをしていただければと思います。まちづくりのために何が必要かと自分で考えたときに、そこには様々なコンテンツがあると思います。

お祭、文化、食がありますが、魅力的な町には、魅力的な人が必要だと思っております。遠野型の観光として、コアなファンの人が多いので、何度も足を運んでくれる人をどんどん増やしていくべく、施策をお考えいただければと思います。永遠の日本のふるさと遠野というところで、いらっしゃるお客様方に、いらっしゃいませ、というより、お帰りなさいといえるような町であってほしいと思います。

○臼井悦男委員

社会福祉協議会は、今度の小さな拠点づくりの中で、新たな支えあいを担おうということで努力をしているところであります。遠野市から受託をし、独り暮らし高齢者や障害のある方の実態調査に入っております。地域福祉計画、ハートフルプラン、障がい者のプランもこれから同時並行で作成されるわけですが、それらの計画に十分反映させるようなデータを揃えていきたいと思っております。新しい、支え合うまちづくりの中で役割を果たしていきたいと思っておりますので、皆さんのご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

○松田克之委員

素晴らしい計画を進めていただければと思います。先ほど会長が申された、旧三田屋のこども本の森を、後期基本計画と十分な整合を図って進めていただければと思います。大きな宝になると思いますので、よろしくお願いします。

○千葉和委員

分科会にさせていただき、十分細かな内容も検討されたのではないかと思います。毎回話をさせていただいていますが、まちづくり指標に捉われることなく、計画が答申されて、これからがスタートだと思っています。市民一人一人が取り組んでいく、市民協働が今回の計画であると思っています。市民一人一人に浸透して、一人一人が実行していくように、行政だけではなく、色々な方達と力を併せて取り組むというのがこの計画だと思っています。市民と一緒にこの計画を実行していくという、初心を忘れないようにしていただきたいと思っています。数値化できない部分についてですが、自然環境がよくなっている悪くなっているというのは、なかなか指標にはできないと思います。指標に出来ないものはいっぱいあるということも、忘れないでもらいたいと思います。今後の審議会、来年度以降もあると思いますので、指標だけの評価ではない審議をお願いしたいということをお願いし、私からの感想とさせていただきます。

○菊地セツ子委員

食改団体の菊地と申します。大綱4の議論に参加いたしました。たくさんの方の意見、提言を聞くことができたことから、これからのボランティア活動に役立てていきたいと思っています。住民も一緒に参加して市行政に加わって活動するというのを、今回、新しく自分自身も認識したところあります。

コロナ禍で財政が非常に大変なところだと思っています。市職員もご苦労があると思います。市民の協力を得たいと市から声をかけてもらえれば、皆そのことは分かっていると思います。是非協働で市の運営に関わっていき、良い方向を子ども達のために残せたらいいなと痛切に感じました。

○河野好宣委員

体育協会の河野です。前期計画、後期計画の策定に携わらせていただき、大変勉強になりました。間もなく後期高齢者の仲間入りをするようになりますので、委員は今季限りかと思っております。皆様方には、計画の年度毎のローリング等に留意され、計画の見直し、あるいは修正を図って、より住みやすい永遠の日本ふるさと遠野にさせていただければと思います。

○佐藤正市委員

民生児童委員協議会の佐藤です。どちらかというと、各地域の弱者の声を聴いて、各審議会の意見に反映したいと思っています。

○松田希実委員

遠野市わらすっこ支援委員会の松田です。欠席してしまった回もありましたが、改めて後期基本計画について色々と学ばせていただきました。今回の目玉事業はというご質問もありましたが、産業振興、雇用促進、子育て支援、小さな拠点のいずれも、自分に関係のない分野は一つもないと改めて思いました。

1回目でも申し上げましたが、計画ができあがり、コロナの影響で見直し、振り返り、評価をしなければならぬときに、ぜひ市民の皆様への説明や経過をきちっと明らかできるように、この計画を進めていけたらいいなと思いますし、市民の一人として、計画をよく理解し、どの分野にも協力していくことができたらと思いを新たにいたしました。

○井手八重子委員

大綱3に参加しました。農林業も、商工業も大変なことだと思います。特に観光客がこなければ、遠野にお客さんと呼ぶということは大変だと思います。私もふるさと村でまぶりつとをやっていますが、なかなかふるさと村も大変でございます。市民をあげて、ふるさと村を盛り上げていただきたいと思っています。この回に参加させていただき、大変勉強になりました。

○濱田平八郎委員

遠野市の基幹産業であります、農林業、商工業、観光ということで大綱3に出席いたしました。市民自らの意識と取組によりまして、次世代へと取り次ぎ、誇れるよう、後期基本計画が着実に進行することを願っております。

○三浦芳昌委員

遠野市観光協会の三浦と申します。遠野に泊まって応援クーポン第2期に入っています。おかげさまで順調に進んでいて、回遊券についても商店で利用していただいています。多少でも観光客が増えてきているように感じています。このまま伸びていければと思っています。コロナ禍の中で旅行スタイルが変わってきています。これまで、遠野の観光はこうなんだ、というような押しつけみたいところがあつたような気がします。これからは、お客さんの目線に立った新しい観光を推進していかなければならないと思っています。遠野物語、原風景だけでは、中々お客さんと呼ぶのは大変な時代になっています。新たな視点でお客さんを誘致することが大事だと考えております。

来年はいよいよ東北ディスティネーションキャンペーンが始まります。福島から青森までの6県となります。今から電波を流して今から攻めないとお客さんは来ません。今回、学ぶ点がありましたので、行政の皆さん、市民の皆さんと協力しながら、新たな観光客の誘致を図っていきたいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

○佐々木弘志委員

遠野商工会の佐々木です。今年はコロナということで、想定外という言葉で逃げることはできましたが、これからは、災害にしろ、このような疫病にしろ、想定内ということで、物事を進めていかなければならない時代に入ってくると思います。新しい発想で取り組まないと、想定外に対処しきれないのではないかと思います。このような時代なので、行政の運営も非常に困難を極めると思いますが、是非この計画が達成できますように期待をしております。

○小笠原正剛委員

青年会議所の小笠原です。後期基本計画の将来像に向け、まちづくり指標や計画の事業の達成100%に向けて、市民と協力しながら、遠野市には全うしていただきたいと思います。引き続き市民のためによりしくお願いいたします。

○小向敏夫委員

遠野中学校の校長の小向です。この審議会に参加し、ふるさとの文化を育むまちづくりの分科会で、遠野の子どもたちと文化が宝だということを改めて認識できたと思っています。将来の遠野の人材育成で責任の重さを感じさせられた審議会でありました。コロナで、普段当たり前のことが当たり前でないということ子どもたちも感じています。様々な面で市に支えていただいております。部活動にしても、施設をただで使わせて貰えるのは、他の市町村にはないということ子ども達にしっかりと認識させ、遠野に将来戻ってきて、遠野のために頑張れるという子ども達を育てていきたいと思っています。

○内館充幸委員

区長会の内館と申します。市民協働の推進ですが、小さな拠点づくりの中には、組織作りの強化に全て網羅されていると思います。皆さんご案内のとおり、土淵は既に始まっております。来年の4月1日からは全町がそこに参加することになります。今までの地連協の分が計画に反映されれば良いなと思っています。私は座長ということで、市当局の皆様には大変お世話になりありがとうございました。各委員の皆様にもご協力いただきありがとうございました。関係団体を含めてこれからも協力して参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○海老系子委員

遠野町婦人団体協議会の海老です。大綱5に入りました。遠野町では、小さな拠点によるまちづくりをやっています。来年4月からのスタートに向けて頑張っています。検討委員会もやっと終わり、今度は区長会で話し、遠野のまちづくりを始めていきたいと思っています。新しいまちづくりがこれからできていきます。今回、大綱5の中で、みんなで考えていくということよかったですと思っています。皆さんで話し合ったことを参考にして、来年の4月1日からもよろしく願いいたします。

○佐々木亨委員

県南広域振興局の佐々木と申します。日本全体が人口減少という厳しい中で、今回、遠野のコミュニティの力というものを最大限に発揮しながら、取組を進めていこうということが計画にまとめられたのかなと思います。計画の実現に向けて、様々な課題があると思いますので、計画の実現に向けて、県としても一緒になって取り組んでいきたいと思っていますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○佐々木栄洋委員

市民団体の佐々木です。中長期的な視点で進めていく内容でありました。今進んでいる身近な問題についても、織り込んだ内容になっていると思います。計画が整ったということで、これを実行していくことになると思いますが、計画自体は、持続可能性、実効性の高い計画になっていると思います。自分の目標として掲げるような内容になっていますので、一市民として取り組んでいきたいと思っています。

○備前修委員

東北銀行の備前と申します。今年度金融団の幹事行として参加させてもらいました。我々転勤族で色々な市町村を回っていますが、議論を重ねて計画を作っているという市長村は無いのではないかと感じたところであります。

遠野地域の発展のために、金融機関としてお役に立てることは協力していきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

○相高宏太委員

遠野ひまわり基金法律事務所の相高と申します。この会議の途中から参加させていただいています。この計画は素晴らしい計画なので、この計画が実現、実行されることを期待していますし、私自身、計画に携わっていきたくと思っています。また、法律事務所として、遠野市民の方のために携わっていきたくと思っていますので、よろしく願いいたします。

○佐々木浩章委員

遠野テレビの佐々木と申します。この度は、後期基本計画の審議に携わらせていただきありがとうございました。今回、大綱1で、様々な課題、コロナというリスクに対して、いかにして市全体で計画に果たしていけるかということについて、有意義な時間を過ごさせていただきました。

遠野テレビの立場として、計画書の84ページにあるように、まちづくり指標の中に、明確に遠野テレビのインターネットの具体的な指標が具体的に示されています。このことを果たすことが、まちづくりとして重要な成果に向ける道だというように思っております。審議した内容と共に、これを果たす役割をさらに自覚して進めていきたいと思いました。

○及川増徳会長

計画策定方針に、気象変動、SDGsなどの新たな観点、視点が入っていることに高く評価したいと思っています。委員の一人として、率直に述べさせてもらいました。過激な部分もあったかと思いますが、期待感の現れ、強さというように受け止めていただければ幸いです。

会長の立場として、多くの発言をいただいた委員各位に感謝申し上げます。また、委員発言を真摯に受け止め、誠実に検討いただいた当局や事務局の労を多としたいと思います。

市民協働の観点から地域総合力を生かし、財源確保に奮闘され、明るく事業推進されることを期待するところであります。

○本田遠野市長

先ほど及川増徳会長から答申書を受け取ったところであります。意見が3つ述べられてありました。遠野らしさにこだわった地域資源を生かし、地域総合力を生かして実施してほしい。2つ目は、個別計画の中で、基本計画を確実に実施するようにしっかりと整合性を図るように。3つ目は、よく言う絵に描いた餅にならないように、財源の確保に国や県と連携して対応するようにという答申書を頂戴したところであります。改めて緊張感を覚えているところであります。

ただ今は、各委員の皆様から、答申にあたって、あるいは策定にあたっての想いをしっかりと聞かせていただきました。令和3年度を初年度に、2021年度から2025年度までとなれば、急激に変化する経済情勢や社会情勢の中に、基本計画でどのように対応していくかとなれば、3つの意見の中に一つの姿を見出さなければならないのかと思います。委員の皆様からいただいた200以上に及ぶ意見、提言や分科会の活発な議論。及川増徳会長からは、この審議会を追認機関にしないという強い意志を示していただきました。本当に嬉しく思いました。

ただいま及川増徳会長からは、事務局、当局にもご配慮をいただくお言葉をいただきました。職員も懸命に頑張っております。委員の皆様様の様々な意見を分析しながら、少しでも委員の皆様様の意見を反映させようとがんばった職員にも慰労の言葉をいただきました。私からも、改めて感謝を申し上げたいと思います。市民協働、市民の皆様と一緒に市民の皆様様の目線に立って、丁寧に実行していくことになるかと思っておりますので、なお一層それぞれの立場からのご支援とご理解を

いただきますよう申し上げ、濃縮した議論の中でこの計画をまとめていただいた及川増徳会長、新里副会長、そして委員の皆様には御礼を申し上げまして感謝の言葉とさせていただきます。

○新田政策担当課長

今後は内部の手続きを経まして、11月24日に開催される議員全員協議会の説明を経まして、12月市議会において議決をいただく予定としております。なお、市民の皆様には概要版を作成の上、全戸配布し周知に努めることとしております。

お忙しい中、ご審議に参加いただきありがとうございます。以上を持ちまして、第5回審議会を終了いたします。

ありがとうございました。

令和2年度第5回遠野市総合計画審議会(後期基本計画策定に係る分科会)意見への対応

No	大綱	発言者	頁	確認・意見・提言内容	区分	市回答者	回答内容
1	1	千葉和委員		<p>[対象施策]</p> <p>[内容] ワーキンググループの開催日の扱いについては、入れないことになったのか。</p>	質問	事務局佐々木	<p>前回の全体会の際、今年度に入って開催しているという回答を差し上げ了解いただいたと捉えており、期日は入っていない。</p>
2	1	佐々木栄洋委員		<p>[対象施策]</p> <p>[内容] 総合計画の策定に関し、他市町村はどのようなになっているのか。また情報共有の機会はあるか。</p>	質問	事務局佐々木	<p>他市町村では、10年度を4年、4年、2年などの3期構成としているところもある。情報については、主に県南広域振興局管内で共有を図っている。他市に比較し、ページ数も多く内容についても具体的内容となっている。</p>
3	1	佐々木栄洋委員	22	<p>[対象施策] 大綱別の評価</p> <p>[内容] 主な事業の枠組みの行間が違うので、体裁を整えた方がよい。</p>	意見		
4	1	千葉和委員		<p>[対象施策]</p> <p>[内容] まちづくり指標に載らない施策を評価する仕組みについても検討してもらいたい。</p>	意見	事務局佐々木	<p>毎年度、議会向けには主要な施策と課題の評価という資料によって、指標以外の事業についても年度別に評価しているところではある。</p>

令和2年度第5回遠野市総合計画審議会(後期基本計画策定に係る分科会)意見への対応

No	大綱	発言者	頁	確認・意見・提言内容	区分	市回答者	回答内容
1	2	佐藤正市委員	91	[対象施策] まちづくり指標	意見	佐々木子育て応援部長	R元年度の実績値が高い数値となっているが、R元年度以前の数値の平均では、約98%であり、国の目標値95%と平均値よりも高い目標値を設定することとしました。
				[内容] まちづくり指標No.23「麻しん風しん混合予防接種の接種率」について、現状の数値より低い目標値になっているが大丈夫か。			
2	2	佐藤正市委員		[対象施策]	意見		
				[内容] 総合計画の下に各計画があると思うので、個別計画が決まってから総合計画が決まるような順序であれば、良かったと感じた。			
3	2	白井悦男委員	103	[対象施策] 健康づくり活動の推進	意見		
				[内容] 4つ目の項目で、手話について記載されているが、障がい者の方には耳が不自由な方以外にも目が見えない方等もいるので、その方たちについての表現もあっても良かったのではないかと思った。個別計画の内容でふれてもらえればと思う。			
4	2	白井悦男委員	192	[対象施策] 財政計画	意見	事務局	今後、森林環境譲与税や風力発電などの税収の増加が見込まれるところであり、今後2、3年は厳しい財政状況が続くと見込まれるが、実際にどうなるかは現状でも分からない状況です。
				[内容] 遠野市の財政状況で、「しばらくの間は厳しい財政経営が続くものと…」あるが、今後2年なのか5年なのか、どのくらい続くのか分からないと感じた。			

令和2年度第5回遠野市総合計画審議会(後期基本計画策定に係る分科会)意見への対応

No	大綱	発言者	頁	確認・意見・提言内容	区分	市回答者	回答内容
1	3	濱田平八郎委員	117	[対象施策] 農村環境の保全	提言	農林課長	地域ぐるみでの被害防止対策と関係機関と連携した広域での取組を分けて記述したところ。文面については検討したい。
				[内容] 鳥獣被害対策に関する記述は、一つにまとめたほうがよいのではないかと。			
2	3	井手八重子委員	132	[対象施策] 受入機能の強化	意見	観光交流課長	文化課で、ふるさと村の支配人と作業内容調整に入っているところ。
				[内容] ふるさと村の曲り家で、馬釜が壊れている。文化課で確認済みとのことだが、壊れたのは最近のことではなく、対応が必要となっている。			
3	3	三浦芳昌委員	132	[対象施策] 観光メニューの充実	意見	観光交流課長	観光推進協議会との連携し検討したい。
				[内容] 観光面では、夜の活性化が必要を図る必要がある。居酒屋等で、遠野ではこのようなお酒を出しているとか食材等を提供しているなどのPRができないかと。			
4	3	佐々木弘志委員		[対象施策]	意見	事務局	分かり易い表現を心掛けるとともに、使用する際は資料編での解説も検討したい。
				[内容] タカタナの利用では留意すべき。分かり易い表現を心掛けてほしい。			

令和2年度第5回遠野市総合計画審議会(後期基本計画策定に係る分科会)意見への対応

No	大綱	発言者	頁	確認・意見・提言内容	区分	市回答者	回答内容
1	4	及川増徳委員		<p>[対象施策]</p> <p>[内容] 分科会での意見・提言を事務方に真摯に受け止めていただいた。 全体会での大綱4分科会としての報告内容について、委員の皆さんに予めご承知いただきたい。(報告案について説明⇒了承) 審議会の会長としては、3点を答申に付記したい。市民協働の観点から総合力での取組を一層進めること。個別計画の策定に当たって総合計画との整合性を確保し実行性のあるものとする。国・県の制度の活用はもとより、新たな制度の新設も求めながら財源の確保に努めてほしい。この3点。</p>			
2	4	委員		<p>[対象施策]</p> <p>[内容]</p>		教育部長	<p>前回の審議会の後、総合教育会議を開催した。学力向上については、審議会委員の皆様からの意見と同様の意見が出され、見直しに至った。また、家庭学習の重要性についても共有した。</p>
3	4	委員		<p>[対象施策]</p> <p>[内容]</p>		文化振興担当部長	<p>まちづくり指標についての委員からのご意見を職員にフィードバックし、努力目標となるような数値に改めた。また、人口減少に左右されないような指標とした。財源については、経費削減だけではなく、「稼ぐ」自治体を目指したい。</p>

4	4	小向敏夫委員	[対象施策]			
			[内容] 学校では学力偏差値のほか、知能偏差値を踏まえ、能力を発揮できるように学力の向上に努めている。学力偏差値50を目標とするが、それだけではないことを学校現場の状況としてこの場にいる方々だけにでもよいので、分かっていたきたい。			
5	4	菊地セツ子委員	[対象施策]			
			[内容] 子育て中の方は忙しいだろうが、個人的に子育ての最中の時期にこのような会に携われたら自分のためにも良かったと感じた。子どものスマホの使い方など、広報等を通じて広く発信してほしい。			
6	4	及川増徳委員	[対象施策]			
			[内容] このような会の委員となることで、生活の中での意識の幅が広がる。アンテナを高くしながら、行政だけではなく、市民のひとりとして計画の推進に協力いただきたい。			

令和2年度第5回遠野市総合計画審議会(後期基本計画策定に係る分科会)意見への対応

No	大綱	発言者	頁	確認・意見・提言内容	区分	市回答者	回答内容
1	5	佐々木亨委員	174	<p>[対象施策] まちづくり指標118</p> <p>[内容] 前回代理で出席した中村が指標について発言したが、見直しという趣旨ではなく、減らしていこうという方向性が見える方がよいのではないかということ。</p>	意見	鈴木総務企画部長	段階的に減っていくような指標ということもあると思うが、法案としては可決していないが定年延長のことを考慮する必要があると考えたものである。